

## 幻の国鉄井原線と井原鉄道コントロールセンター

日時 令和6年11月24日(日)  
募集定員 総社駅・早雲の里荏原駅 各駅20名(車両定員(45名)まで、最低催行20名)  
参加費 4,000円(お弁当、鉄道運賃、資料代を含む)  
発駅にかかわらず、参加費は同額です。  
集合 総社駅観光案内所前・早雲の里荏原駅改札 各駅20名  
集合時間 総社駅観光案内所前 9:00集合  
早雲の里荏原駅改札 12:45集合

行程 総社9:10==《吉備線延長井原線の計画を》==吉備真備駅==備中呉妹駅==12:30井原鉄道・井原コントロールセンター==12:40早雲の里井原(迎車)12:45==13:00コントロールセンター(見学)13:30~35に乗車、13:48出庫+++特別貸し切り列車にて昼食(特製弁当)+++早雲の里荏原13:54+++総社14:37(15:09まで車内使用可)

内容 井原線は吉備線の延長するという形で計画されました。計画当初のルートは総社から真備町岡田を經由して真備町役場付近を経て備中呉妹から現在の路線になっていました。この幻の井原線のルートを当時の公文書を読み説きながら見ていきます。

午後からは普段立ち入ることのできないコントロールセンターを見学し、特別にコントロールセンターから特別貸し切り列車にご乗車していただきます。車内ではオカリナの調べをお楽しみいただけます。特別貸し切り列車はゆっくり走ります。普段と違った景色をお楽しみいただけます。



▲ 旧国鉄井原線計画路線図

《吉備線延長井原線の計画》 立ち寄り場所予定地  
旧日紡績引込線跡 鉄道予定地 総社市真壁・中原  
下原圃場整備保留地跡 鉄道予定地 総社市下原  
備中岡田駅予定地 倉敷市真備町岡田字森  
備中箭田駅予定地 倉敷市真備町箭田(現・倉敷市真備支所)  
備中呉妹駅予定地 倉敷市真備町呉妹字石田



▲ここから特別列車に乗るよ

荏原駅から参加の方は 荏原駅列車到着時間  
総社方面から 12:41着 (総社発12:06 清音発12:11)  
井原・神辺方面から 12:25着 (神辺発12:04 井原発12:21)

問い合わせ、申し込み先は 吉備線を愛する会 代表浅野(090-4805-6080)まで  
主催 吉備線を愛する会 共催 清音公民館・井原鉄道・総社市まちかど郷土館

## 総社市近郊の廃線めぐり

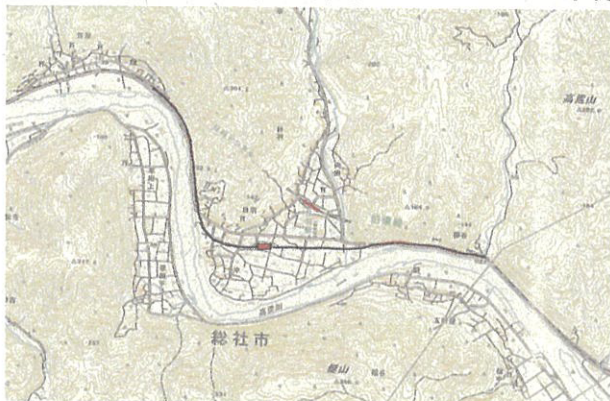
日時 令和6年12月8日(日)  
募集定員 20名  
参加費 2,000(食事、鉄道運賃、資料代を含む)  
集合時間 東総社駅改札口前 9:00

行程 東総社9:12—9:15総社(バスは総社駅始発)9:30==9:40天満屋P(バスは浅尾分館へ回送)・・・切通・・・浅尾踏切・・・橋跡・・・築堤跡・・・10:30浅尾分館10:35==10:45湛井駅跡(バスは用水組合前留置)11:15==妙見橋or日羽駅入口(バス留置)11:30日羽駅跡・・・築堤跡11:45==12:00美袋駅(木造駅舎)・・・大国屋(洋食)13:30==13:50豪溪駅14:00==14:40稲荷山線跡(車窓・バスは高松城址公園で転回)==15:00稲荷山駅跡15:10==15:30稲荷山奥の院・・・稲荷山鋼索鉄道山上駅跡・・・稲荷山奥の院16:10==東総社駅16:30

内容 総社市近郊には2社3路線の鉄道が走っています。総社に最初に鉄路が敷かれたのが中国鉄道の吉備線で明治37年11月15日のことです。現在は国鉄を経てJR西日本の所属となった吉備線です。次に官設の鉄道として敷かれたのが伯備南線の倉敷～宍粟(現・豪溪)で大正14年2月17日に開通しています。この時に吉備線と伯備線は浅尾踏切付近でクロスすることになり、このことが理由で総社(現・東総社)～湛井が廃止されました。その年の5月には美袋まで延長され、昭和3年には米子から工事を進めてきた伯備北線と備中川面付近でつながり伯備線となり、陰陽をつなぐ大動脈となりました。太平洋戦争の激化により昭和19年6月1日には吉備線は津山線とともに国有化され、稲荷山支線と稲荷山ケーブルは不急不要な路線として廃止されました。昭和31年には日羽駅が岡山県初の無人駅として誕生しました。この日羽駅は昭和45年9月には伯備線の移設複線化により現地へ移転されました。これにより日羽駅を含む柳谷橋梁から作原の間は廃線となりました。



▲ 湛井駅跡 給水塔付近



▲ 伯備線付け替え(日羽駅付近)

現地には行きませんが、伯備線の清音、総社、美袋から分岐してた貨物列車が走っていた引込線のご紹介もいたします。引込線からは地域産業とのかかわりも見えてきます。このような歴史に翻弄され、廃止された鉄路を訪ねます。

現地には行きませんが、伯備線の清音、総社、美袋から分岐してた貨物列車が走っていた引込線のご紹介もいたします。引込線からは地域産業とのかかわりも見えてきます。

このような歴史に翻弄され、廃止された鉄路を訪ねます。

問い合わせ、申し込み先は 吉備線を愛する会 代表浅野(090-4805-6080)まで  
主催 吉備線を愛する会 共催 清音公民館・総社市まちかど郷土館

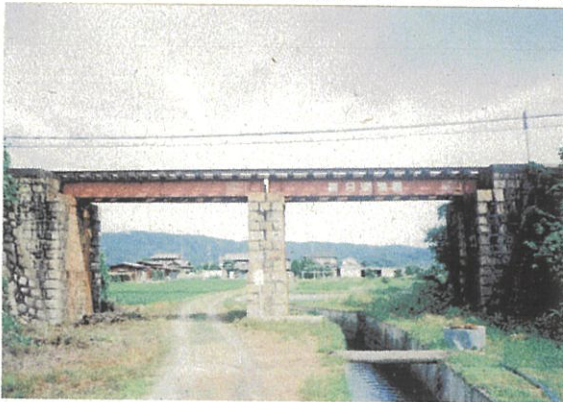
## 吉備線のトリビアを探そう(吉備線探訪)

日時 令和6年12月1日(日)  
募集定員 20名  
参加費 500円 (資料代を含む)  
集合時間 総社駅観光案内所前 9:00集合

行程 総社駅9:20==9:30東総社駅(30分)10:00==10:15服部駅(25分)10:40==10:55足守駅(20分)11:15==11:30サンロード吉備路(自由昼食)12:30==12:50備中高松駅(30分)13:20==13:35吉備津駅(20分)13:55==14:10備前一宮駅(30分)14:40==15:00大安寺駅(20分)15:20==15:30備前三門駅(20分)15:50==16:05旧岡山市駅(10分)16:15==16:25岡山駅16:25==17:05東総社(BS)==総社駅17:15

内容 吉備線の各駅に足を運び『駅かんさつ』を試みましょう。

普段見過ごしてしまうような歴史の痕跡。どうして列車はぶつからないの。ホームの移動はどの駅が便利かな。吉備線には乗車位置の表示が岡山駅以外でないのはなぜ。吉備線にはトンネルがなく、川の大きさの割に大きな橋があるのはなぜ。ローカル線の指標が「営業係数(100円の収益得るための経費)」から「輸送密度」に代わったのはどうしてこのような素朴な疑問をひもときます。



▲ 第8避溢橋(足守～服部)

問い合わせ、申し込み先は  
吉備線を愛する会

代表浅野(090-4805-6080)まで

主催 吉備線を愛する会

共催 清音公民館・総社市まちかど郷土館



▲ 中国鉄道時代の鬼瓦

このような疑問を解決しながら、今に残された歴史の名残や現地を探し、訪ねます。

そして、吉備線の魅力やどんな鉄道が高齢者や通学生などの交通弱者にとって便利で、環境に優しい公共交通機関について考えてみましょう。

クイズラリーにも参加できるよ。



▲ JR九州 蓄電池式電車